

第82回 都内中小企業・小規模事業者 景況調査

1. 調査対象期間 令和3年10月～令和4年3月の実績(今期)
令和4年4月～令和4年9月の見通し(来期)
2. 調査対象先 大信にお取引がある、東京都内の中小企業・小規模事業者6業種
3. 調査方法 営業店調査員による面接聴き取り
4. 調査回答企業 主に当組合の貸出先約13,500先のうち3,113社・者

従業員数別では5人未満が6割、5～20人未満が3割、その他が1割
地区別では23区内が8割、その他が2割
業種別では製造業263社、卸売業178社、小売業624社、
サービス業728社、建設業418社、不動産業902社



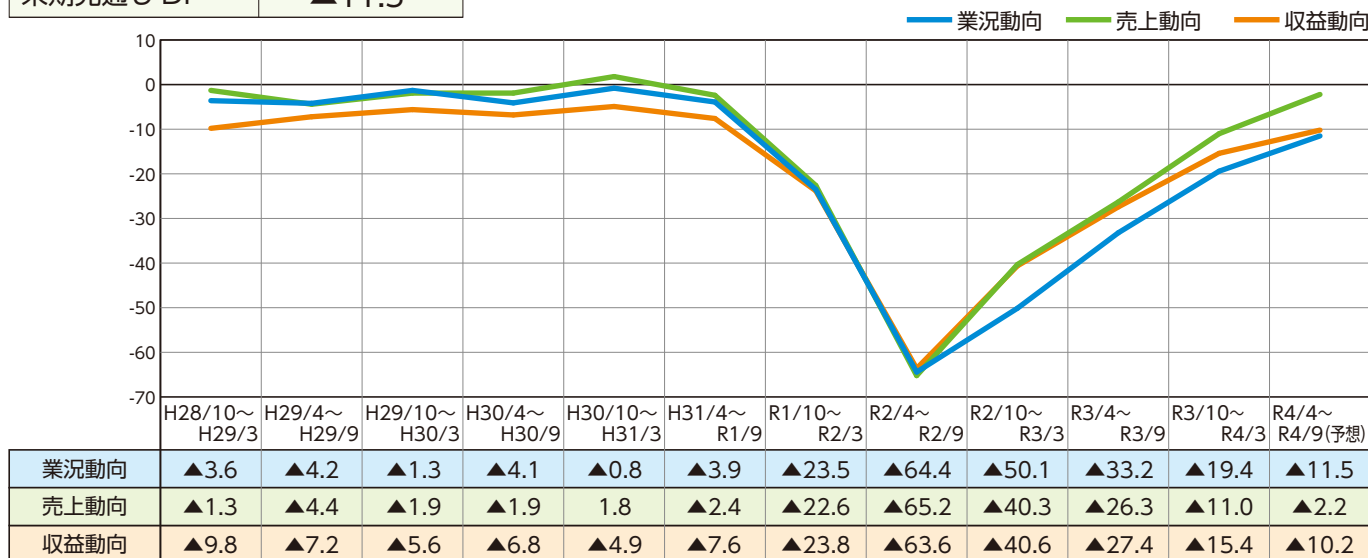
1 業況、売上、収益

今期の全業種の業況DIは▲19.4となっており、前回実績の▲33.2に比べて、マイナス幅は13.8縮小している。

来期見通しでは▲11.5とマイナス幅の縮小となっている。

前期実績 DI	▲33.2
今期実績 DI	▲19.4
来期見通し DI	▲11.5

前期比(今期 - 前期)	13.8
今期比(来期 - 今期)	7.9



【注】DI (Diffusion Index) とは各設問の項目について「良い」「増加」「上昇」「楽」とした企業の割合(%)から「悪い」「減少」「下降」「苦しい」とした企業の割合(%)を差し引いた値である。例えば 売上DIのプラス(増加したと答えた企業の割合)が多いほど売上は上向き、マイナス(減少したと答えた企業の割合)が多くなるほど売上は、低迷・不振であることを表す。

売上

前期実績 DI	▲26.3
今期実績 DI	▲11.0
来期見通し DI	▲2.2

前期比(今期 - 前期)	15.3
今期比(来期 - 今期)	8.8

収益

前期実績 DI	▲27.4
今期実績 DI	▲15.4
来期見通し DI	▲10.2

前期比(今期 - 前期)	12.0
今期比(来期 - 今期)	5.2

収益増加の要因	構成比(%)
売上数量の増加	76.7
販売単価の上昇	16.1
人件費の低下	0.9
仕入単価の低下	0.7
金利負担の減少	0.0
その他	5.6

収益減少の要因	構成比(%)
売上数量の減少	75.5
仕入単価の上昇	17.4
販売単価の低下	2.1
人件費の上昇	1.0
金利負担の増加	0.1
その他	3.9

2

販売単価、仕入単価、在庫数量

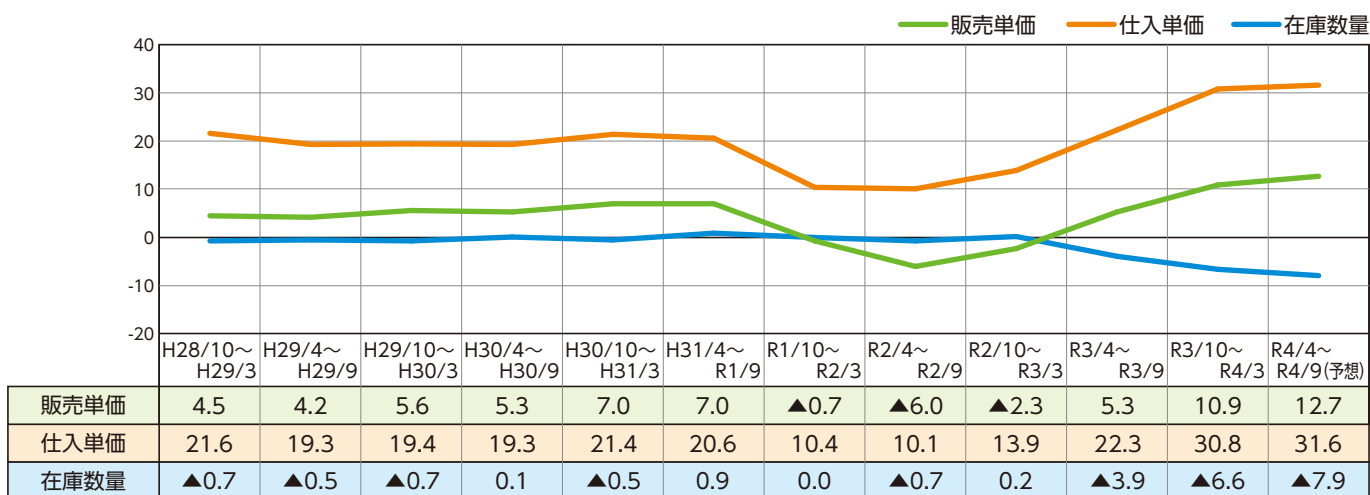
今期の全業種の販売単価DIは10.9となっており、前期実績の5.3に比べて、プラス幅の拡大となっている。

来期見通しでは、12.7とプラス幅は拡大している。

今期の全業種の仕入単価DIは30.8となっており、前期実績の22.3に比べて、プラス幅の拡大となっている。

今期の全業種の在庫数量DIは▲6.6となっており、前期実績の▲3.9からマイナス幅の拡大となっている。

	販売単価	仕入単価	在庫数量
前期実績 DI	5.3	22.3	▲3.9
今期実績 DI	10.9	30.8	▲6.6
来期見通し DI	12.7	31.6	▲7.9



3

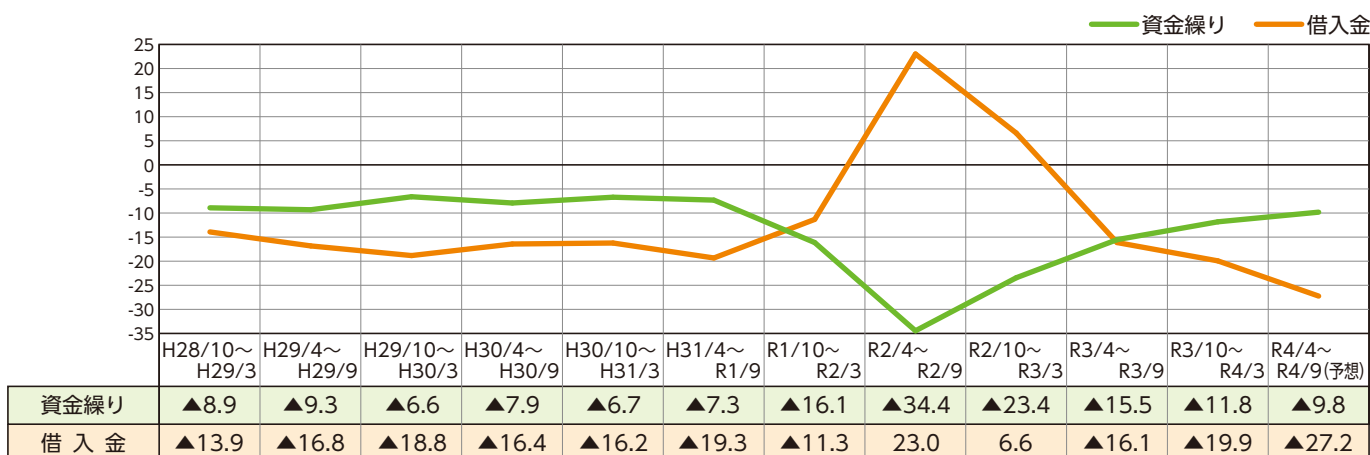
資金繰り、借入金

今期の全業種の資金繰りDIは▲11.8となっており、前期実績の▲15.5に比べて、マイナス幅は縮小している。

来期見通しでは、▲9.8とマイナス幅は縮小している。

今期の全業種の借入金DIは▲19.9となっており、前期実績の▲16.1に比べて、マイナス幅は拡大している。

	資金繰り	借入金
前期実績 DI	▲15.5	▲16.1
今期実績 DI	▲11.8	▲19.9
来期見通し DI	▲9.8	▲27.2



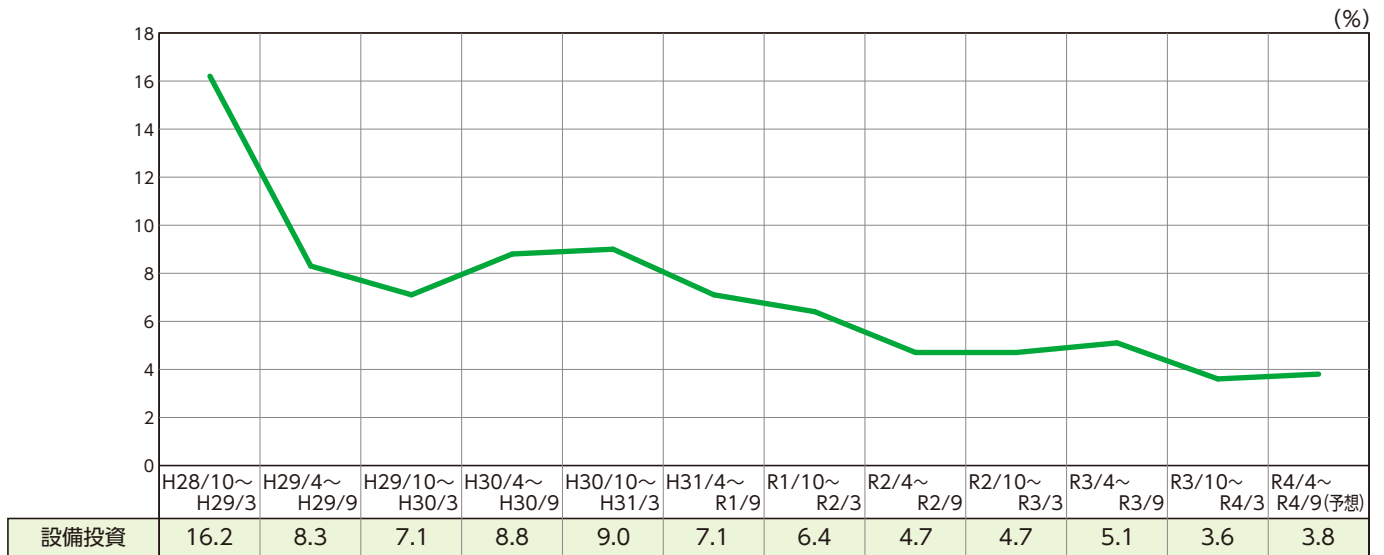
4

設備投資

実施率

今期、設備投資を実施した中小企業・小規模事業者の割合である「設備投資実施率」(A)を全業種で見ると、3.6%となっている。

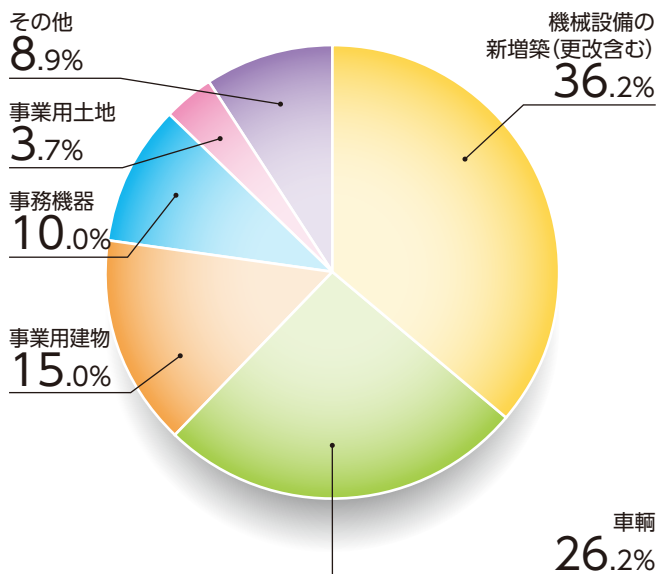
なお、来期において設備投資を計画していると答えた中小企業の割合(B)は、3.8%となっている。



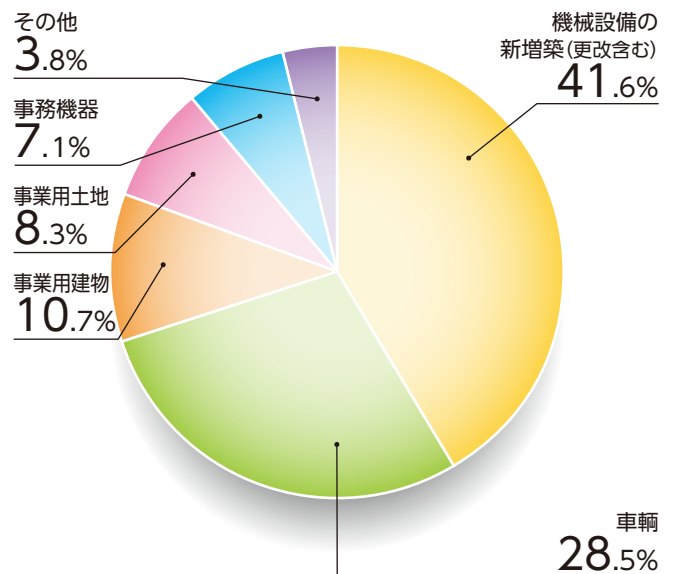
業種別実施率

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	全業種
今期(A)	3.0	4.4	3.3	3.9	3.3	3.6
来期(B)	5.7	2.2	3.2	3.8	4.0	3.8

今期の設備投資実施内容



来期の設備投資計画内容

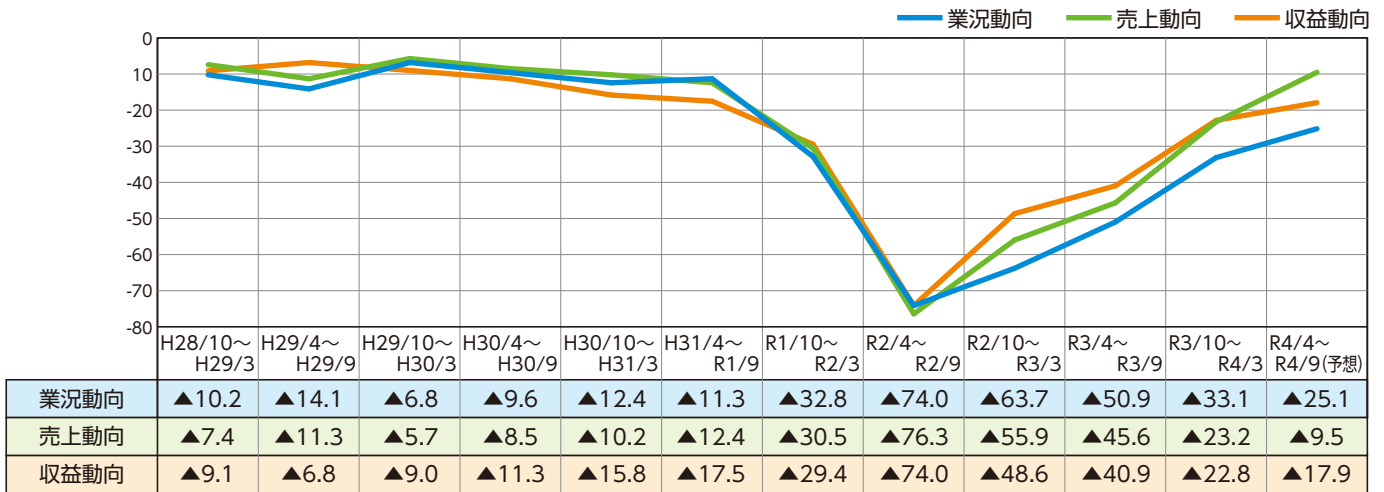


5

業種別の業況、売上、収益

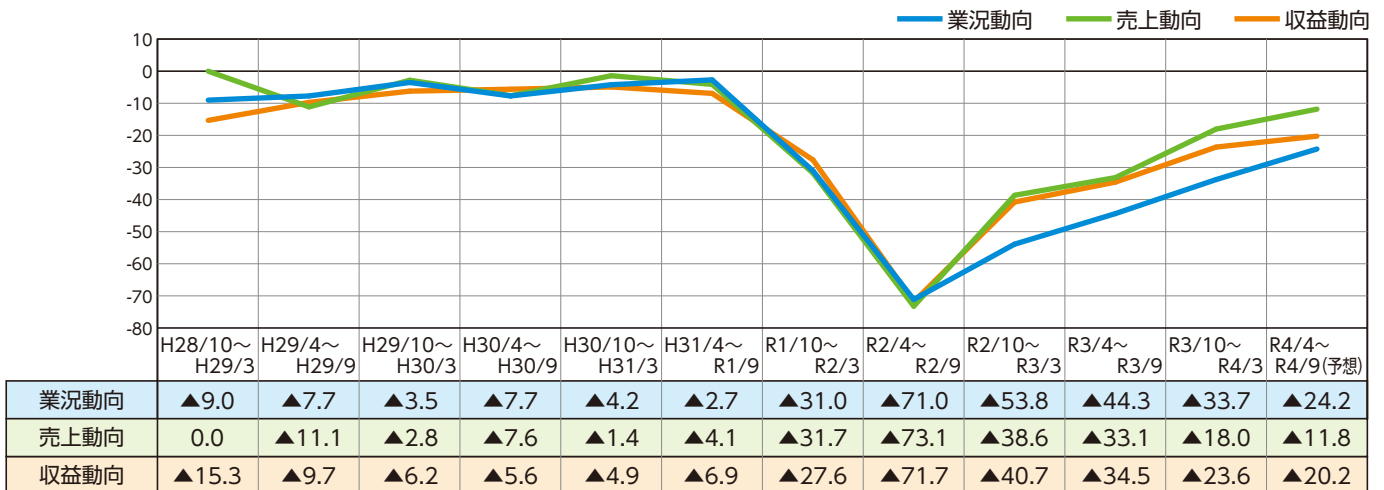
製造業

業況：今期は▲33.1となり、前期の▲50.9より17.8ポイント、マイナス幅の縮小



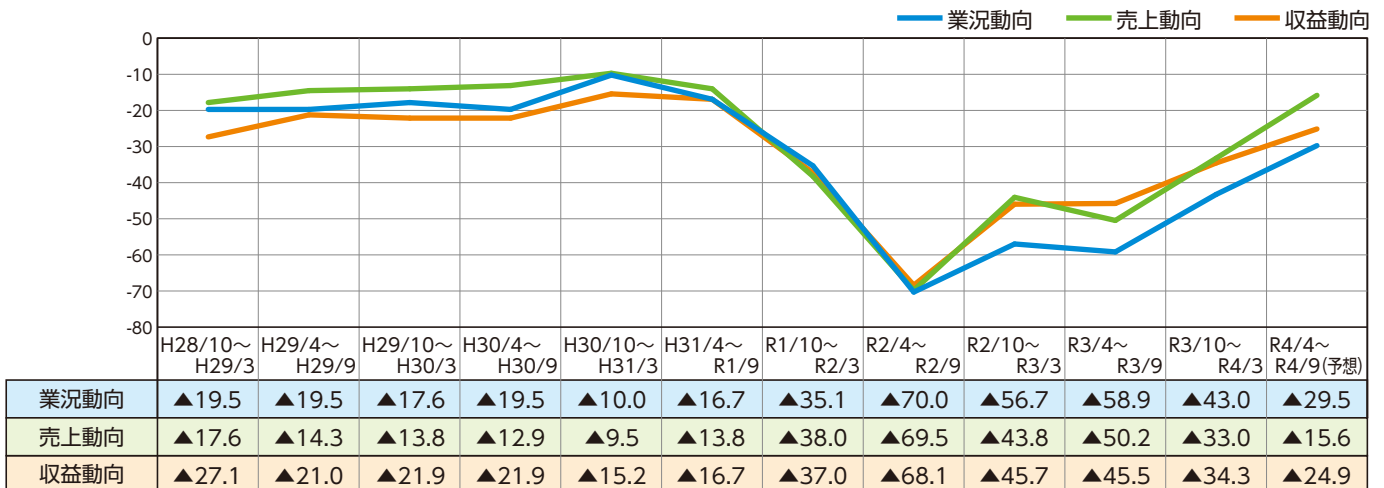
卸売業

業況：今期は▲33.7となり、前期の▲44.3より10.6ポイント、マイナス幅の縮小



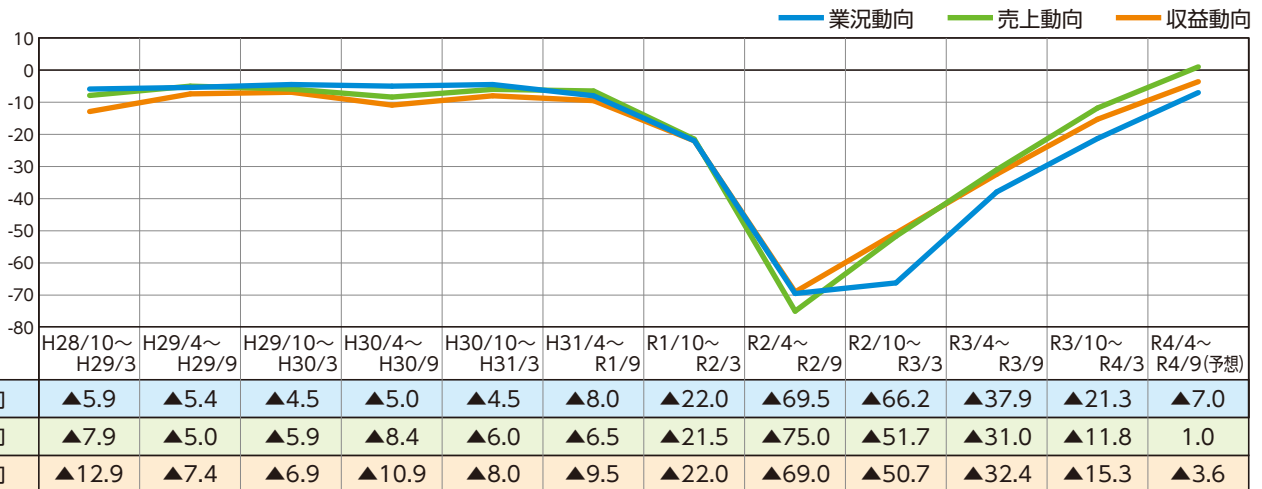
小売業

業況：今期は▲43.0となり、前期の▲58.9より15.9ポイント、マイナス幅の縮小



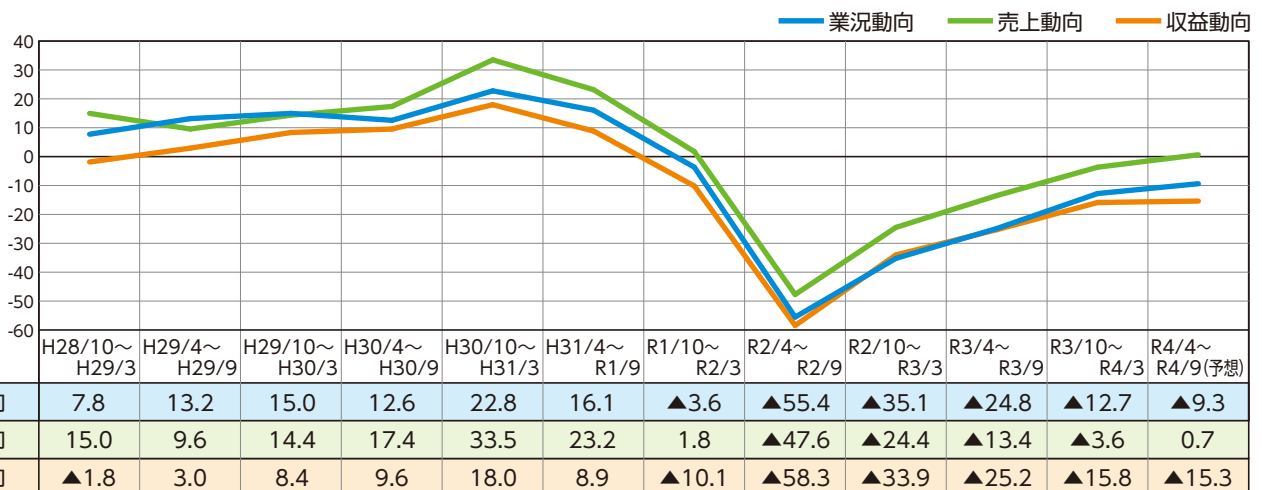
サービス業

業況：今期は▲21.3となり、前期の▲37.9より16.6ポイント、マイナス幅の縮小



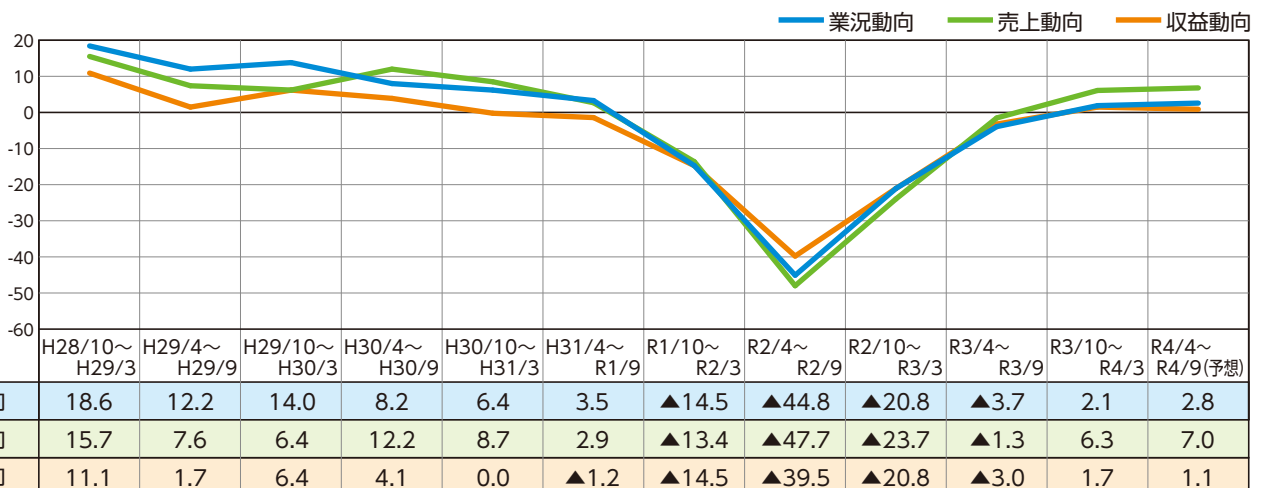
建設業

業況：今期は▲12.7となり、前期の▲24.8より12.1ポイント、マイナス幅の縮小



不動産業

業況：今期は2.1となり、前期の▲3.7より5.8ポイント、プラス幅の拡大



6

経営上の問題点

当面する経営上の問題点を大きなものから上位3つ挙げていただきました。

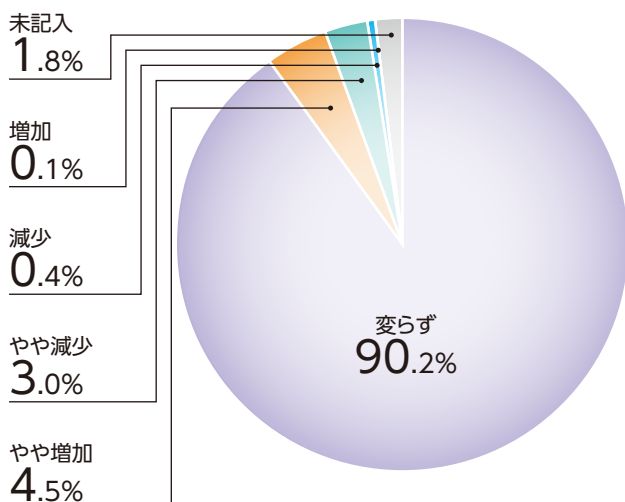
内 容	件 数		
	1 番目	2 番目	3 番目
売上・受注の停滞・減少	1,309	393	302
競争の激化	719	876	436
販売物件の不足	219	199	168
人手不足	216	230	258
顧客・製品ニーズの変化	175	348	473
仕入先からの値上要請	133	286	192
材料単価の上昇	86	154	170
人件費以外の経費の増加	52	116	188
店舗の狭小・老朽化	34	51	76
商店街の集客力の低下	32	65	76
人件費の増加	20	49	68
料金・請負単価の上昇難	11	40	51
代金回収の悪化	11	17	19
借入難	9	31	55
その他・未回答	87	258	581
合 計	3,113	3,113	3,113

業種別「問題点」上位3項目 (カッコ内は前回数字)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1 位	売上・受注の 停滞・減少 57.4% (64.1%)	売上・受注の 停滞・減少 54.4% (58.2%)	売上・受注の 停滞・減少 56.2% (63.8%)	売上・受注の 停滞・減少 45.6% (54.3%)	売上・受注の 停滞・減少 41.3% (48.0%)	競争の激化 35.0% (32.9%)
2 位	競争の激化 9.5% (11.0%)	競争の激化 17.4% (15.8%)	競争の激化 16.8% (14.5%)	競争の激化 23.9% (21.6%)	競争の激化 16.2% (18.1%)	売上・受注の 停滞・減少 22.7% (25.3%)
3 位	仕入先からの 値上要請 7.6% (4.7%)	仕入先からの 値上要請 7.8% (4.3%)	顧客・製品 ニーズの変化 6.8% (4.6%)	人手不足 10.3% (8.1%)	人手不足 16.2% (14.1%)	販売物件の 不足 22.1% (23.3%)

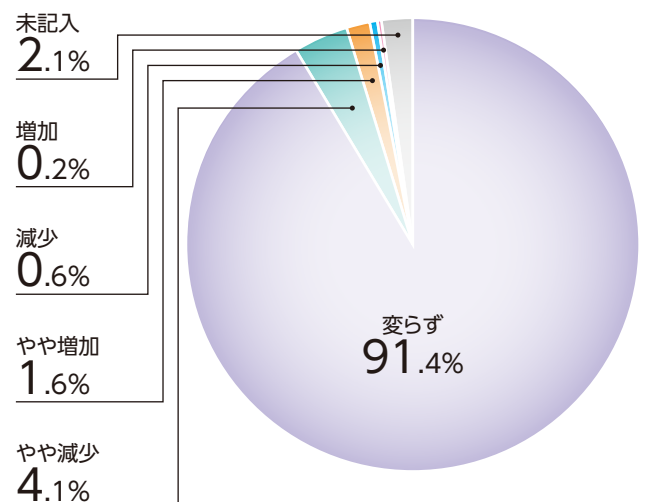
7

今期の人件費



8

今期の残業時間



9

当面の経営施策

当面の経営施策のポイントを大きなものから上位3つ挙げていただきました。

内 容	件 数		
	1 番目	2 番目	3 番目
販路の拡大	1,346	398	336
情報収集力の強化	542	596	474
経費の節減	507	654	379
宣伝・広告の強化	212	452	566
人材の確保	132	192	169
売れ筋商品の取扱い	86	162	181
品揃えの充実	77	186	206
技術力(者)の強化	62	115	118
新しい事業への進出	40	43	74
店舗・設備の改装	20	30	58
新製品・技術の開発	11	36	45
不採算部門(品目)の整理・撤退	8	23	43
教育訓練の強化	7	40	56
労働条件の改善	7	8	26
その他	56	178	382
合計	3,113	3,113	3,113

業種別「経営施策のポイント」上位3項目(カッコ内は前回数字)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1 位	販路の拡大	販路の拡大	販路の拡大	販路の拡大	販路の拡大	情報収集力の強化
	56.6% (63.8%)	55.6% (62.2%)	44.2% (49.4%)	49.5% (51.5%)	51.2% (51.5%)	41.4% (43.1%)
2 位	経費の節減	経費の節減	経費の節減	経費の節減	経費の節減	販路の拡大
	17.1% (12.4%)	12.9% (14.0%)	20.9% (15.5%)	17.5% (11.0%)	16.9% (17.1%)	27.3% (26.6%)
3 位	情報収集力の強化	情報収集力の強化	宣伝・広告の強化	情報収集力の強化	人材の確保	経費の節減
	5.7% (6.0%)	10.1% (6.1%)	10.5% (10.9%)	8.7% (10.2%)	11.7% (11.2%)	12.0% (11.7%)

このたびは、第82回都内中小企業景況調査にご協力いただきまして大変ありがとうございました。
調査結果についてのご照会は、下記担当部までお願いいたします。
なお、第83回調査(令和4年4月～令和4年9月予定)にも是非ご協力くださいますよう、お願いいたします。

大東京信用組合

〒105-8610 東京都港区東新橋 2-6-10 TEL 03 (3436) 0126
(担当部署 営業推進部)